

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和5年度第1回 相模原市地域交通活性化協議会 運賃協議部会		
事務局 (担当課)		まちづくり推進部 交通政策課 電話042-769-8249 (直通)		
開催日時		令和6年1月10日(水) 16時00分～16時30分		
開催場所		相模原市役所 職員会館4階 会議室2		
出席者	委員	4人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	5人(交通政策課長、外4人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 令和5年度実証実験における利用料金の設定について 2 その他		

議 事 の 要 旨

開 会

1 議題1 令和5年度実証実験における利用料金の設定について

資料に基づき事務局より説明を行った。

(森久保委員) 先般、市から地域の自治会に取組内容を説明をいただいた。そのうち関口地区からは料金について無料を望む声があったと承知している。地域住民の思いも理解できない訳ではないが、市としても市民サービスが向上するよう努力していただいている中、地域としても理解を示していく必要もあろうと考えている。追加料金の100円は、利用したい人のみが利用すればよく、例えば、復路便で買い物の荷物が重いときなどに支払えば良いのであろう。

(大田部会長) 無料とすると地域内の利用者がすべて自宅前停留所の設置を求めることにより、運行が困難になる恐れもある。

(森久保委員) ドア・ツー・ドアの利用者が増えすぎると、運行事業者の負担が多くなってしまふであろう。今回の取組について、地域からは料金設定以外には特段の意見は無かった。

(事務局) 料金設定については、事務局としても議論を重ねてまいったが、今回は追加料金を徴することとし、最終的な料金設定については、実証実験の結果を踏まえつつ、決定してまいりたいと考えている。

(安部委員) 実施に向けた事前準備として試走も行っているが、現在の利用希望者の状況を伺っている限りでは、現行ダイヤ内で対応も可能と考えている。

(事務局) 今回の取組を通じて、利便性を向上させ、利用者数も伸びていけば良い。運行実証であるため、幅広く意見を受け止め、今後の改善に繋げてまいりたい。

(森久保委員) まずは、原案の料金設定でスタートすることによいと思う。

(平田委員) 確認だが、100円の加算は片道料金に加算ということによいか。また、追加する停留所は個人宅前の想定か。

(事務局) そのとおりである。

(平田委員) 小学生については、割引料金が適用されているが、今回の追加運賃は小学生にも100円の追加とするのか。

(事務局) 徴収する想定である。

(森久保委員) 小学生が乗っていることはあるのか。

(安部委員) 小学生はほとんど利用していない。利用する場合でも保護者と一緒に利用されている。

(平田委員) 家族で利用しても、それぞれ100円ずつ料金を追加するのか。

(事務局) そのとおりである。

(安部委員) 現在の乗合タクシーのドライバーは、利用者と面識があるが、新しいドライバーが入った際、家族だからという理由で追加料金を割り引くなどするのは対応が困難であるため、1人あたりにそれぞれ加算する方がよい。

(大田部会長) 現在の停留所から一番遠い場合の距離はどの程度か。

(事務局) 500m以上である。

(結果) 出席委員の全会一致の同意により承認。

閉 会

以 上

相模原市地域交通活性化協議会運賃協議部会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	平田 伸一	関東運輸局 神奈川運輸支局 輸送担当 主席運輸企画専門官		出席
2	安部 智	YM交通株式会社 輸送事業部 統括		出席
3	森久保 高弘	内郷地区乗合タクシー運行協議会 会長		出席
4	大田 康雄	相模原市 都市建設局 まちづくり推進部長		出席